



夏場の火の取り扱いに注意

夏場は花火やバーベキューなど、火を使うことが多く、不注意による事故が多発します。火災やけがなどの事故が起こらないよう注意し、ルールとマナーを守って楽しい夏にしましょう。

■ 発電機は給油時に停止させる

ガソリンの引火点は、マイナス40度です。給油中にこぼれたガソリンが発電機のマフラーなどにかかるると発火する危険があります。発電機を停止させて、しばらく冷ましてから給油してください。

■ 間違った使い方でカセットボンベが爆発

カセットコンロ使用時に、大きな鉄板や鍋などを乗せないでください。熱がこもりやすく、カセットボンベが加熱され、爆発することがあります。

■ 露店などの届出

この夏、祭礼や縁日など多くの人が集まる催しで、火気を使用する露店などを開設する場合は、開設の3日前までに「露店等開設届出書」を管轄の消防署または分署へ2部提出してください。(例：自治会などの夏祭り、ガスコンロなど火を使う露店を出店する場合など)

彦根防火保安協会からのお知らせ

- ①危険物取扱者試験(乙種第4類)予備講習会
 - 📅 9月12日(日) 9:00~17:00
 - 📍 消防本部(西今町)大会議室 定 50人(先着順)
 - 👉 5,000円(彦根防火保安協会会員事業所は3,000円) ※テキスト代は別途
 - 📅 8月16日(月)~9月10日(金)に講習費を添えて直接窓口
- ②高齢者世帯等に住宅用火災警報器(1個/世帯)を無償配付
 - 👉 65歳以上の人のみの世帯または身体障害者手帳の交付を受けている人のみの世帯で、住宅用火災警報器が未設置の世帯(申込者多数の場合は抽選)
 - 📅 消防本部・署にある申込用紙に記入し、8月10日(火)~9月24日(金)に郵送・FAXのいずれか(当日消印有効)
 - 📍 彦根防火保安協会(〒522-0054 西今町415 彦根市消防本部消防総務課内) ☎22-0314 FAX22-9427

チケット情報

ひこね市文化プラザ

9月23日(木・祝) 14:00 エコーホール
第12回エコーホールピアノメンバー演奏会 A Piacere!

【自由】8月22日(日)~入場整理券配布開始
入場無料(入場整理券)
今年で12回を迎えるエコーホールピアノメンバー登録者による演奏会。大人から子どもまで様々な年代がつどい、思い思いの演奏をします。入場無料で気軽に楽しめるクラシック公演です。



申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

8月の休館日：2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は開館日から承ります。

みずほ文化センター

8月14日(土)14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席 葉内公演

【自由】【好評発売中】小学生以上 託児あり(有料・要予約)
前売500円、当日600円
出演：【落語】笑福亭鶴松、桂咲之輔
【漫才】コンチェルト 【漫談】代走みづくに
ワンコインで笑顔いっぱい松竹芸能一押し面々が登場!!



申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

8月の休館日：3日(火)、9日(月・振)、10日(火)、17日(火)、24日(火)、31日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。
子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の表示の設置

8月17日(火)まで
「中川祿郎-井伊直弼を支えた儒学者-」
中川祿郎(1796~1854)は、井伊家12代直亮、13代直弼に仕えた儒学者です。本展では、直弼に大きな影響を与えた祿郎の生涯に迫ります。

8月20日(金)~9月15日(水)
「茶道具の“い・ろ・は”」
茶道具とは、抹茶をたてて客をもてなす「茶の湯」で用いる道具の総称です。本展では、多岐にわたる茶道具のそれぞれの用途や造形的な魅力、分かりやすく紹介します。



▲宮王肩衝茶入

スライドトーク
8月21日(土) 14:00~(30分程度)
解説：当館学芸員 場所：講堂
当日受付(先着35人) ※無料(観覧料は別途必要)

常設展示「“ほんもの”との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

8月17日(火)まで
能面 童子

童子は、永遠の若さを持つ神仙(しんせん)の面。疵(まじり)の上がった、涼しい目をした美少年に表されます。本作は、井伊家伝来能面中の屈指の名品のひとつ。人間離れた澆刺(はつらつ)とした生気を感ぜさせます。



▲能面 童子

【休館日のお知らせ】8月18日(水)・9月1日(水)
8月17日(火)・同19日(木)は、展示替えのため一部休室します。

それぞれの道具について、その用途を見てみましょう。まず、写真の右端手前は茶筌筒。抹茶と湯を攪拌して泡立てたり練ったりする際に用いる茶筌が入っています。その左は茶碗を拭くための茶巾を入れる茶巾筒。その後は、菓子などを載せるための盆。その左に、抹茶をすくう茶杓、抹茶を入れる甗、金平糖などの菓子を入れる振出、茶碗。左端は、灰などの汚れを払う羽箒です。この九種すべてが写真奥の小箱に無駄なくきっちり入った様は実に壮観です。コンパクトさを追求し、無駄なものをそぎ落として仕立てるものだからこそ、使い手の好み凝縮され、愛され慈しまれてきた茶道具の一式、それが茶箱といえるでしょう。茶箱鑑賞を手始めに、多彩な魅力を持つ茶道具の世界に誘われてみてはいかがでしょうか。

【彦根城博物館学芸員 奥田晶子】

お出かけの供に「茶箱」

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ



▲蒔絵茶箱

写真の作品は、テーマ展「茶道具の“い・ろ・は”」で8月20日(金)~9月15日(水)の期間、展示します。*9月1日(水)は休館。